

R6年度 埼玉ロボネット分野別研究会 介護・福祉編

現場ニーズに沿った介護・福祉ロボットの開発 ～厚労省受託事業からの経験～

2024年10月31日

コニカミノルタ株式会社
QOLソリューション事業部 事業戦略部
関 泰彦

I. 介護分野の動向

- ・ 本格化する介護現場の生産性向上
- ・ 生産性向上への取組みに加算創設
- ・ 業務改善の手順 認知高まる
- ・ 介護ロボット貸出制度も整備
- ・ 厚労省受託事業の経験より

II. コニカミノルタの取組み

- ・ 会社紹介
- ・ コニカミノルタのコンセプト
- ・ QOLソリューション事業部とは？
- ・ 事業内容
- ・ 映像解析からの展開
- ・ 介護過程をDXしませんか？
- ・ 介護・福祉分野のめざす姿

自己紹介



関 泰彦 (せき やすひこ)

コニカミノルタ株式会社
QOLソリューション事業部 事業戦略部所属

主な業務： 事業企画・推進
介護市場探索、厚労省事業受託、介護事業所支援

資格： スマート介護士 (Expert)

経歴

2008年～ コニカミノルタ株式会社入社

2008年 新事業としてライフサイエンス領域のBtoCビジネス創出

2014年 新規事業探索・事業企画 高齢者介護領域での新規事業創出に従事

2016年 HitomeQケアサポートを上市 介護事業所への営業に従事

2016・17年 厚労省「介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業」受託

2018年 厚労省主催 介護ロボット地域フォーラムにて事業成果報告 (国内12都市)

2022・23年 厚労省「介護ロボット相談窓口 (神奈川) 業務アドバイザー」担当

令和5年度
介護現場の生産性向上に向けた
介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム

介護ロボットの現場への導入相談や体験・試用をしたい
介護ロボットの開発や実証に関する助言が欲しい

全国の介護現場、介護ロボットの開発企業の皆様
介護ロボットの開発・実証・普及を支援するプラットフォーム^(注)を運営しております。

注：厚生労働省「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」(以下、本事業)

介護人材の不足が深刻な社会的課題となる中、その解決策の一つとして、高齢者の自立支援の促進、質の高い介護を実現するためのITや介護ロボットの活用が期待されています。一方で、介護現場では、「どの種類の介護ロボットを導入すべきか分からない」、「技術者や介護従事者に馴染みがない」といった課題も少なくありません。また、開発企業は、より介護現場のニーズに合った製品開発を進めていくことなどの求められています。

プラットフォーム事業とは？

本事業は、地域における相談窓口の設置、介護ロボットの評価・効果検証を実施するリビングラボ(開発の促進拠点)を食生活健康福祉部(NTTデータ)が提供、実証フィールドの整備等を行うことで、全国版プラットフォームを構築し、介護ロボットの開発・実証・普及の促進を加速化することを目指しています。

相談窓口
| 介護現場からの相談受付、製品・技術に関するお問い合わせ、実証フィールドの紹介等
| 介護現場からの相談受付、製品・技術に関するお問い合わせ、実証フィールドの紹介等

リビングラボ
| 介護現場での実証・評価
| 介護現場での実証・評価

実証フィールド
| 介護現場での実証・評価
| 介護現場での実証・評価

介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム

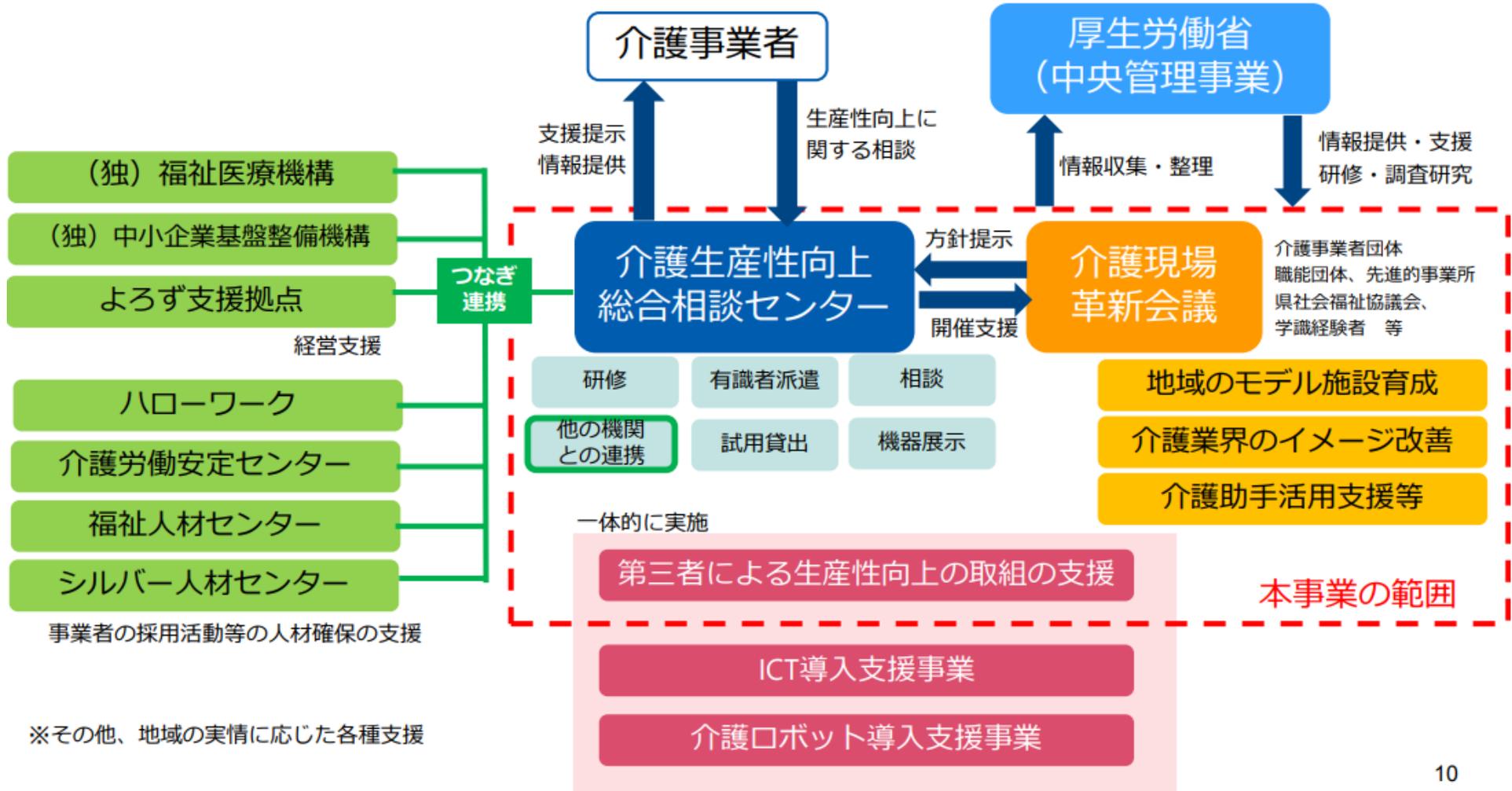
ひとくらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

NTT DATA 株式会社NTTデータ経営研究所
株式会社NTTデータ経営研究所

介護分野の動向

本格化する介護現場の生産性向上

全国的に介護生産性向上総合相談センターを設置し、介護事業者からの業務改善など各種相談に応じています。



R6年度介護報酬改定から生産性向上に取り組む事業所に加算が算定できます。

生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり

利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の設置の義務付け

省令改正

- 介護現場における生産性の向上に資する取組の促進を図る観点から、現場における課題を抽出及び分析した上で、事業所の状況に応じて、利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の設置を義務付ける。 <経過措置 3年間>

短期入所系サービス★、居住系サービス★、多機能系サービス★、施設系サービス

介護ロボットやICT等のテクノロジーの活用促進

告示改正

- 介護ロボットやICT等の導入後の継続的なテクノロジー活用を支援するため、見守り機器等のテクノロジーを導入し、生産性向上ガイドラインに基づいた業務改善を継続的に行うとともに、効果に関するデータ提出を行うことを評価する新たな加算を設ける。

短期入所系サービス★、居住系サービス★、多機能系サービス★、施設系サービス

【単位数】

- 生産性向上推進体制加算（Ⅰ） 100単位/月（新設）
- 生産性向上推進体制加算（Ⅱ） 10単位/月（新設）

【算定要件】

<生産性向上推進体制加算（Ⅰ）>

- （Ⅱ）の要件を満たし、（Ⅱ）のデータにより業務改善の取組による成果が確認されたこと。
- 見守り機器等のテクノロジーを複数導入していること。
- 職員間の適切な役割分担（いわゆる介護助手の活用等）の取組等を行っていること。
- 1年以内ごとに1回、業務改善の取組による効果を示すデータの提供を行うこと。

<生産性向上推進体制加算（Ⅱ）>

- 利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会の開催や必要な安全対策を講じた上で、生産性向上ガイドラインに基づいた改善活動を継続的に行っていること。
- 見守り機器等のテクノロジーを1つ以上導入していること。
- 1年以内ごとに1回、業務改善の取組による効果を示すデータの提供を行うこと。

業務改善の手順 認知高まる

介護事業所が業務改善に取り組みながら、介護ロボットを導入する手引き（介護ロボットパッケージ導入モデル）が全国的に認知されています。



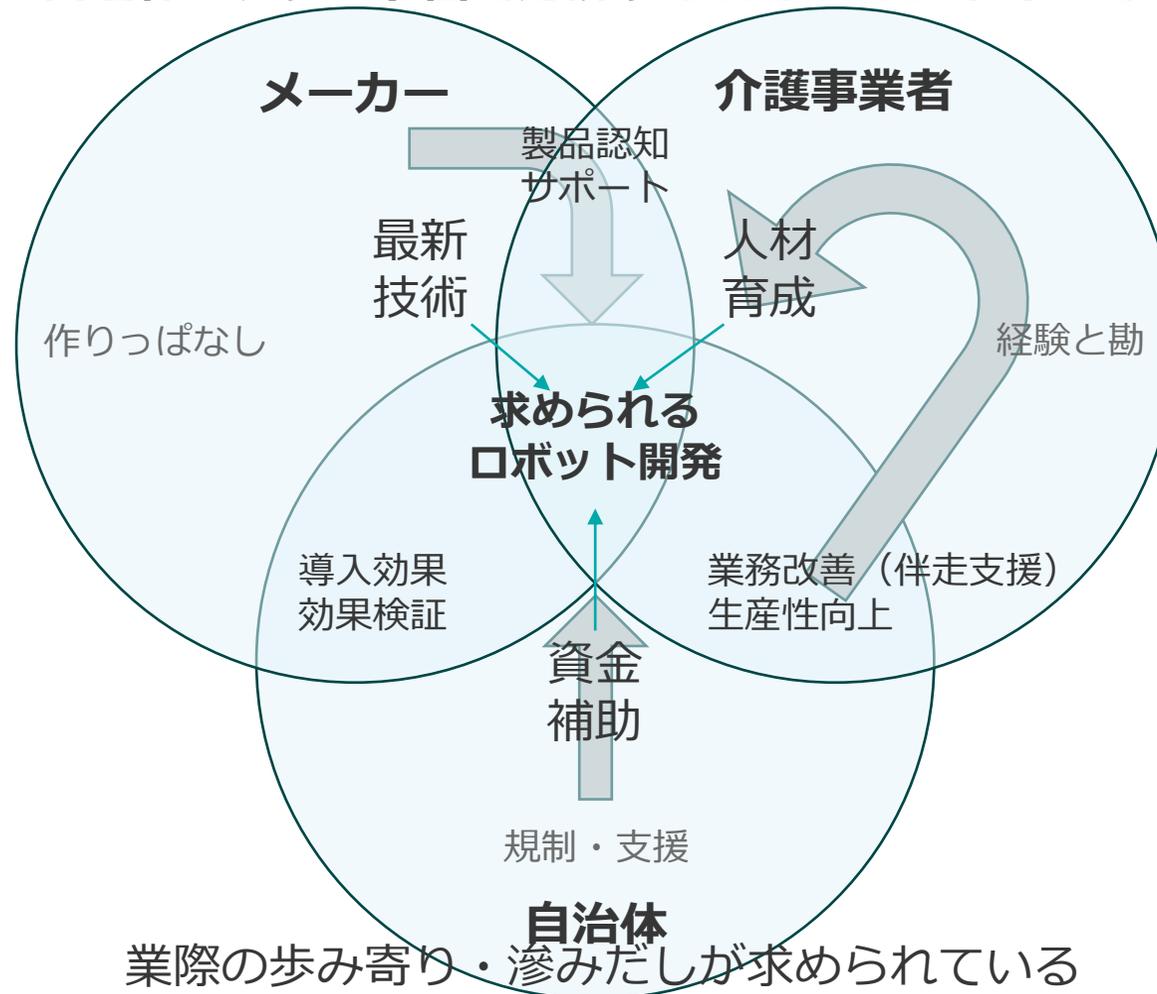
	手順	ポイント
P	手順1 改善活動の準備をしよう	<改善活動を検討・実行に移すための体制づくり> <input type="checkbox"/> 生産性向上の取組を推進するにあたり、プロジェクトチームをつくり、現場担当者に任せるだけでなく、経営層（トップ層）も関与しましょう。 <input type="checkbox"/> 経営層（トップ層）から、取組開始のキックオフ宣言をし、取組の意義等を周知しましょう。
	手順2 現場の課題を見える化しよう	<介護現場での課題把握> <input type="checkbox"/> どのような現場の課題があるのか、今後どのようなケアを進めていきたいのか、議論して見える化しましょう。 <input type="checkbox"/> 導入したい介護ロボットを前提とした議論をするのではなく、施設・事業所の課題やありたい姿に丁寧に議論することが望ましいです。
	手順3 実行計画を立てよう	<導入後のオペレーション変更の検討、導入後の効果を把握するための定量的な仮説の設定> <input type="checkbox"/> 課題等を踏まえ、介護ロボットの導入をする場合、実行計画を検討します。 <input type="checkbox"/> ごまごま介護ロボット等を導入したことがない場合、介護ロボット導入のためのフローチャートを参考にしましょう。 <input type="checkbox"/> 一度に複数の機器を導入するのではなく、順次導入するようにしましょう。機器の特性（適応と禁忌）を確認の上、対象利用者を選定しましょう。 <input type="checkbox"/> 介護ロボットの導入・教育だけでなく、現場のオペレーションをどのように変えるか、を検討しましょう。 <input type="checkbox"/> 導入後、想定される効果を検討し、評価項目を設定しましょう。
D	手順4 改善活動に取り組もう	<導入準備、利用者へのケアの提供、導入後の効果検証> <input type="checkbox"/> 本冊子を参考に、導入準備（保管場所・活用ルール等の検討）、機器導入・研修、利用者への活用を進めます。 <input type="checkbox"/> 夜勤者で十分な教育ができないことや、ICTに慣れていないために活用が進まないケースがあります。十分な導入期間を確保するようにしましょう。 <input type="checkbox"/> 導入当初は、プロジェクトチームによるミーティング等を月1～2回程度開催するなどして、メンバーでの情報共有を心掛けましょう。 <input type="checkbox"/> 取組のなかで、小さな改善活動を進めていきましょう。
C	手順5 改善活動を振り返ろう	<期待していた効果（仮説）に対する効果検証、振り返りミーティングの実施> <input type="checkbox"/> 実行計画の中で設定した評価項目が達成されているかの評価を行います。評価は、利用者への効果・職員への効果・組織への効果の観点で行います。可能な限り定量評価ができるようにしましょう。 <input type="checkbox"/> うまくいった点、いかなかった点を整理しましょう。うまくいった点は事例として、施設・事業所内に情報共有しましょう。 <input type="checkbox"/> うまくいかなかった点は、原因等をプロジェクトチームで検討しましょう。
A	手順6 実行計画を練り直そう	<input type="checkbox"/> うまくいかなかった点については、実行計画に変更を勧めましょう。 <input type="checkbox"/> 一定の効果が検証できた場合、次のステップに進みます。ありたい姿に向けた次の取組や、新たな課題への検討を行います。 <input type="checkbox"/> 導入済みの機器の活用を進める場合、対象利用者・対象となるケアのシーン・より効果的な使い方を検討しましょう。 <input type="checkbox"/> 追加で機器を導入する場合、導入済みの機器と組み合わせで活用することにより、相乗効果が発揮できるかを検討しましょう。

（出所）厚生労働省 介護ロボットのパッケージ導入モデル

介護・福祉分野で求められていることは、物理的なロボット開発ではありません。

①現場の課題を可視化し、②課題解決に適したロボットを選定し、③改善活動を牽引する人材により、持続的な介護サービスの提供が実現します。

メーカー・事業者・自治体が、ソフト面で連携することが必要不可欠であると考えます。



コニカミノルタの取組み



ビジネスソリューション

機器やソフトウェアからクラウドサービスまで、さまざまな提供形態のソリューションを取り揃え、お客様の経営課題や現場のお困りごとなどへの幅広い解決策をご提案します。



プロダクションプリント&グラフィック

印刷業界の効率化・コスト最適化、ビジネス拡大、働き方改革対応などの課題に対応したDX化実現のために「共に印刷の未来を創る」ビジネスパートナーとして支援します。



ヘルスケア

画像診断・バイタルセンシング・医療CTサービスによる早期診断と、遺伝子検査サービス・創薬支援サービスによる個別化医療を推進し、医療の発展に貢献します。



センシング

光学技術を利用し、安心と信頼と共に「色と光」を数値化する計測機器をご提供。数値管理という側面から付加価値の高い製品とソリューションのご提案をいたします。



材料・コンポーネント

培ってきた技術をベースに、欠かすことのできない材料、コンポーネントをサプライチェーンに提供することにより、産業のデジタル化における入出力の高度化に貢献します。



画像IoT・FORXAI

人手不足や高齢化に起因する社会課題を、独自の画像IoT/AI技術による非接触、リモート、リアルタイムなソリューションで解決し、安心安全な社会の実現に貢献します。



テキスタイルプリンター



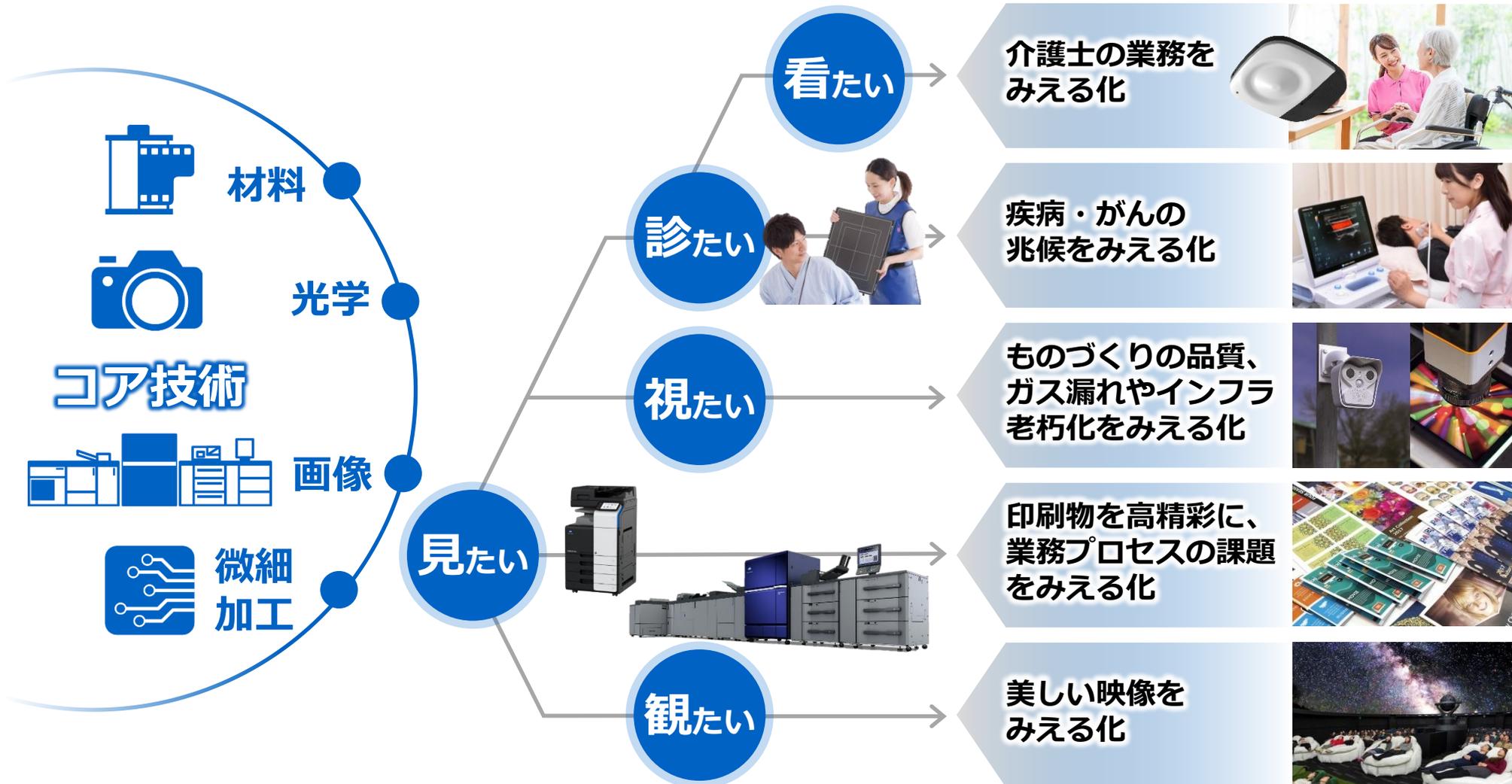
プラネタリウム事業



イノベーション・サービス

コニカミノルタのコンセプト

150年培ってきた **Imaging** を中心とした**4つのコア技術**で
時代と共に変化する人々の「**みたい**」に応えてきました



『ケアに関わるすべての人たちが、
きらめき、ときめく世界を、みなさまと共にひらめく』

介護分野は、人材不足や介護度の進行、認知症の悪化など様々な課題に直面し、利用者様の真のニーズを捉えることが大変難しい状況・分野であると思います。ICTやAIは、介護現場で奮闘する皆さまの五感を深化させ、お客様のニーズや利用者様の最適なケアを提供する手助けとなります。

私たちは、データに基づいたケアを通じて、お客様とのコミュニケーションを向上させより質の高いサービスが、一人ひとりの成長や組織の進展につながると考えます。

ケアに関わるすべての人が、自信と笑顔で利用者様に向き合っていただけるよう私たちは邁進していきます。

- 2014年9月 介護分野のDXをめざし事業創出に着手
- 2016年4月 QOLソリューション事業部 事業化
- 2018年12月 コニカミノルタQOLソリューションズ株式会社 設立
- 2022年3月 丸紅株式会社と出資契約締結
- 2024年10月 国内約200の介護保険事業所にて製品・サービスをご利用

弊事業部は、介護分野に特化した
市場調査から製品・サービス開発、製造、販売を手掛ける事業体です。

HitomeQケアサポート コンセプトムービー

HitomeQ ケアサポート（システム&サービス）を介護事業者様にご提供

自社開発の行動分析センサーが
映像解析等から得られるヒトの行動データを収集し
ケア品質の向上や介護現場の生産性向上を推進

ICT環境の提供



利用者様の行動を見守り、
スタッフ様の業務負担を軽減

データ活用



科学的介護の推進・
ケア品質の向上

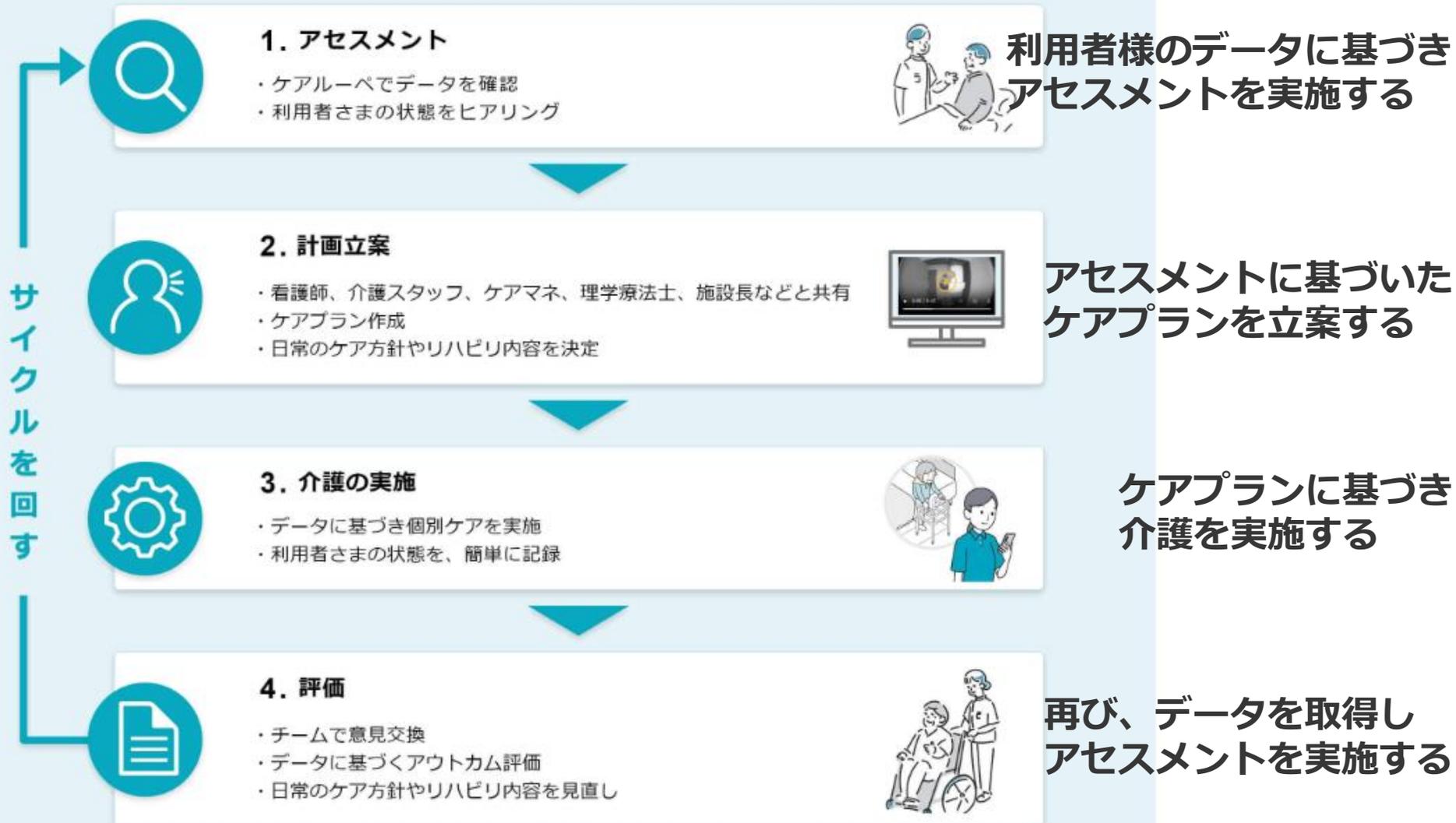
サクセスサポート

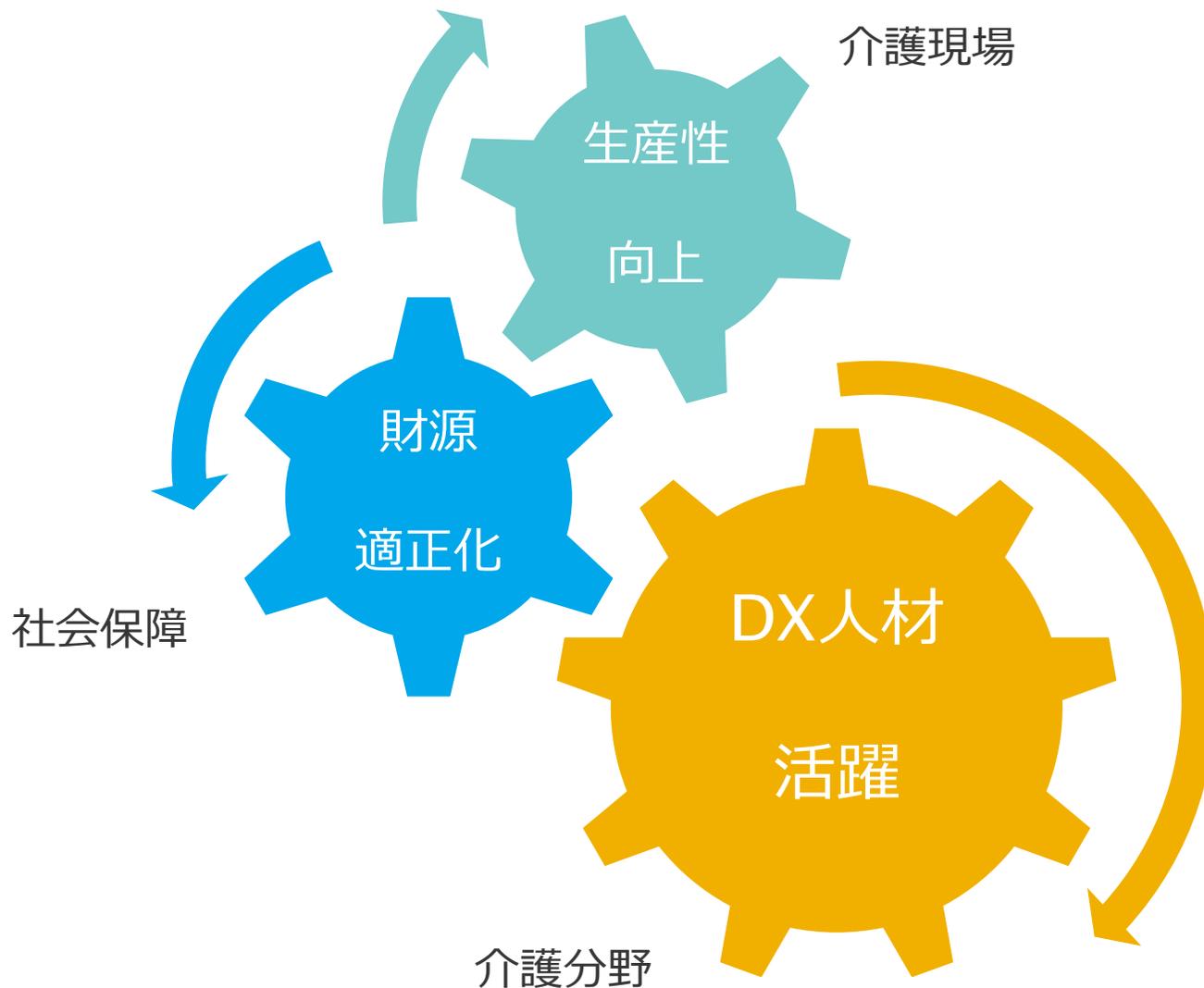


介護オペレーションの変革を伴走

- ※保有資格（ProStaff全員取得）
 - ・スマート介護士資格
 - ・介護初任者研修

介護過程をDXしませんか？





HitomeQ



KONICA MINOLTA